

10/12 王麗

統一協議の発達が次々発見する山縣大志郎経営再生担当相と厳しい批判が上がっています。自ら進んで関係を公表せず、メディアなどで掲載されると、次々詰めのうとう不誠実極まる態度を繰り返していくのが、これが怒りを招いています。○田配信の「両回」世論調査では、「閣僚を辞任すべきだ」が62・7%とのおりました。先週の衆参の代表質問で野党に逼及された山縣氏は、「眞摯に反省する」と述べる一方で辞任に応じず、野田文雄首相は更迭を拒みました。「既にして意見を聞く」姿勢（所信表明演説）はないにあらぬか。首相の任命責任は重大です。

主張

山際氏と統一協会

「その方に会食についたことがあります。しかし記憶と合致しないことがありますから、その通りだ」という趣旨の説明を終始しました。9月20日の説明会終了後、韓総裁との面会は伏せていました。18年のイベント出席も指摘を受けたが、追認したものでした。

は、むづかしい運んだいとう議論
がみえぬで、議論はあらがせん。
の立場の「週刊新潮」は、統
一候補者から選舉の際に立候補
を受けていた実績を報しており、
疑惑は深まります。進んで事実を
語り、今後「一切関係を持たな
じもの」と實業と行動していき
お張りとも、問題は
通用しません。山
野田は全てを明かか
にし、眞剣に闘機を
説いてください。

お譲りがやめに、調査の責任が改めて取られています。